



**【調査の概要】** \*「大阪府」は「大阪・公立学校」の結果を表しています。  
 ○実施日： 令和5年4月17日（月）～4月25日（火）  
 ○実施校数・実施児童数 小学校：41校（5年生）・2,631人（6年生）・2,778人  
 ○学力に関する調査 5年生：国語・算数・理科・教科横断型問題「わくわく問題」  
 6年生：理科・教科横断型問題「わくわく問題」  
 ○学習や生活の状況・学校の取組に関する調査 アンケート（児童）・（教員）

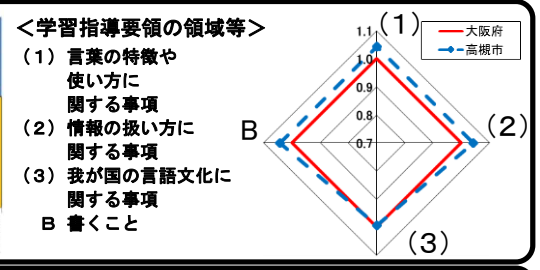
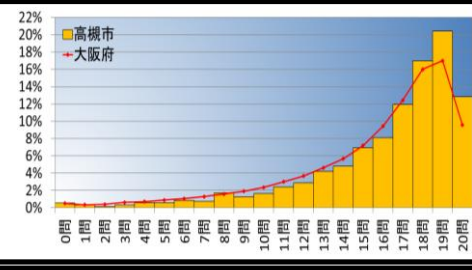
**【調査結果の取扱い】**  
 本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないよう十分配慮をお願いいたします。  
 調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童の全般的な学習状況等の改善につなげることが重要と考えます。

□良好 ■課題 正答数分布・領域等別正答率（大阪府を1.0とした場合） / 対府比

**5年 国語（設問数20問）**

□文中の助詞を正しく使ったり、文中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分の正しく書いたりすること。

■書かれた文の意味を正しく捉え、適切な漢字を使って書くこと。



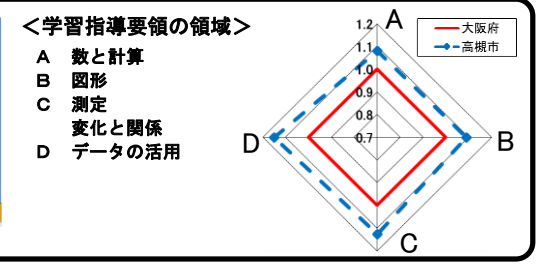
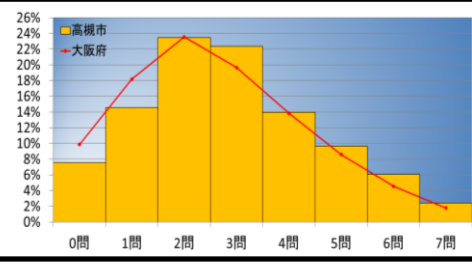
**教科別正答率(大阪比)**

	教科	高槻市	大阪府	差(対大阪府)
5年生	国語	81.3	78.3	3.0
	算数	40.8	37.5	3.3
	理科	64.2	62.3	1.9
6年生	理科	74.1	73.1	1.0
5・6年生	わくわく問題	74.0	71.4	2.6

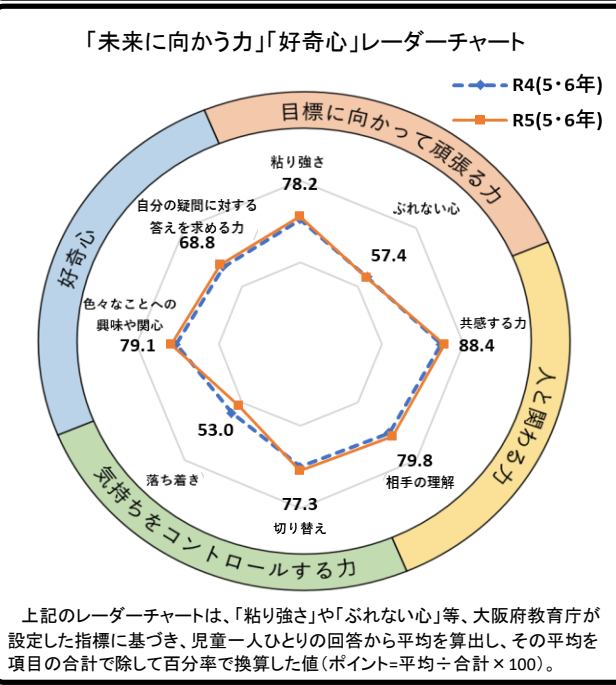
**5年 算数（設問数7問）**

□割り算を使う問題の場面を理解して立式し、商を求めること。

■正三角形と様々な四角形を構成する要素や性質を理解し、正三角形を組み合わせても現れない四角形を考え、その理由を説明すること。



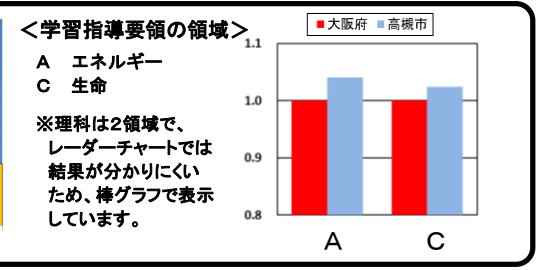
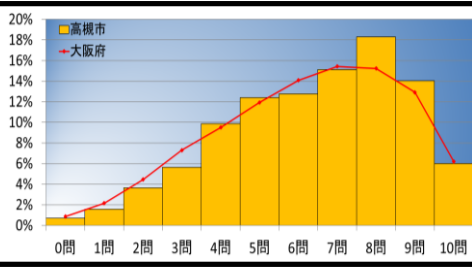
**児童アンケート**



**5年 理科（設問数10問）**

□とじこめられた空気は、おさると体積が小さくなること、体積が小さくなるほど、もとにもどろうとする力が大きくなることを理解すること。

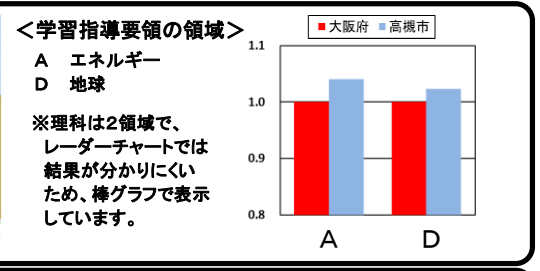
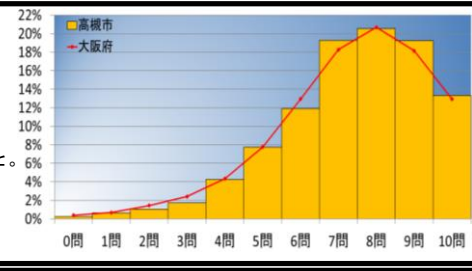
■虫眼鏡の正しい使い方を理解すること。



**6年 理科（設問数10問）**

□月の観察記録に必要な内容を理解したり、月の動きを観察カードから考察したりすること。

■方位磁針の正しい使い方を理解すること。  
 ■乾電池2個と豆電球1個からなる回路で、乾電池を直列つなぎにしたときと並列つなぎにしたときの豆電球の明るさの違いを理解すること。



**5,6年 わくわく問題（設問数9問）**

□相手の立場に立って物事を考え、大阪を訪れる人のためのビクトグラムを作成し、工夫したことを文章で書くこと。

■社会の中の様々な問題に関心を持ち、自分のこととしてとらえ、何ができるのかを問題の条件に合わせて書くこと。

